## 衛星 SAR を活用したインフラモニタリングサービス

テーマ	インフラ施設の効率的な維持管理							
サービス分野	インフラ維持管理							
市場段階	研究・開発	試作・実	証	実用化		事業化		
		0						
実用化の目途	実用化済	半年以内	1年	1年以内 2~			未定	
							0	
販売形態	直販	自社利力	自社利用		販売代理店		未定	
							0	
海外展開	実績有	交渉中		検討中		未定		
					O			

## ■サービスの概要

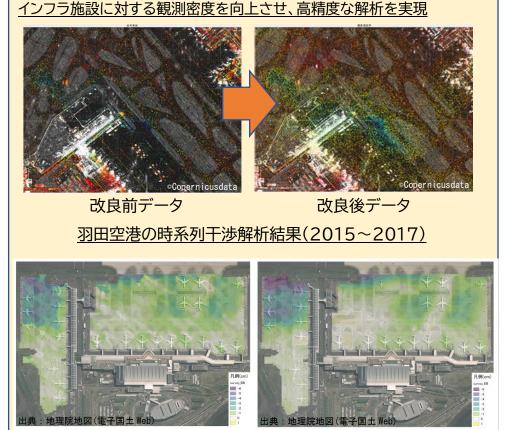
衛星 SAR による時系列干渉解析を用いてインフラ施設を広範囲にモニタリングし、経年的な変位に対し適切なリスク評価提供するサービス。インターネット上でインフラ施設の状況を簡単に確認できるパッケージサービス化を目指す。

- > SAR 時系列干渉解析により、数 mm~数 cm 単位の高精度な変位モニタリングが可能。
- ▶ 道路や空港といった広域な構造物や山間部の鉄塔など、人の目による定期的なチェックが難しいインフラ施設も一括でモニタリング可能。
- ▶ 既存技術の改良により、本来解析が難しい平面構造物に対する観測密度・精度の高度化を実現。
- ▶ 今後解析した変位状況を基にリスク評価基準を整備し、それ対応したサービス構築を行う方針。



点検精度向上

作業の効率化



測量による変動量

SAR 解析による変動量

